

ほっかいどう

紙報広

年5回発行
(5・8・10・12・2月の下旬)

北海道新幹線
2016年3月26日(土)開業

北海道



【特集】未来につなごう!安心の暮らし

幅広い世代が集い、つながり、 心豊かに暮らせる 包容力のある北海道へ。

将来にわたって安心して暮らせることは、
みんなの願いです。
誰もが「住んでいて良かった」と思える
北海道であるために、
未来を見すえた取り組みが進んでいます。



将来への夢や希望を
持ち続けることのできる
活力ある北海道を
つくりましょう。

北海道知事 斉藤 ひとみ



全国を上回る早さで人口減少が進んでいます。

北海道の人口は現在、約540万人。1997年の約570万人をピークに、全国を上回る早さで減少を続けています。

その理由としては、少子高齢化が進み、2003年から死亡数が出生数を上回るようになったことによる「自然減」があります。

また、道内への転入よりも道外への転出のほうが多い「社会減」が半世紀にわたって続いており、特に、若年層が進学や就職などに伴って首都圏に転出する傾向が目立ちます。

さらに、札幌市への一極集中も課題です。札幌市では、道内の他市町村からの転入者が多く、全道人口の約3分の1を占める札幌市の低い出生率が、北海道全体の出生率に大きく影響しています。

暮らしに与える影響をできるだけ小さくするために。

人口減少は、将来の私たちの暮らしにさまざまな変化をもたらします。

たとえば、15～64歳の生産年齢人口が減少し、高齢化が進むことにより、地域の産業の担い手が不足する心配があります。

また、高齢化に伴って一人当たりの医療費が増える分、若年層や現役世代の負担が大きくなることが予想されます。

税収額の減少だけでなく、医療費や介護給付費の増加が見込まれ、行財政を取り巻く環境はさらに深刻化すると予想されています。

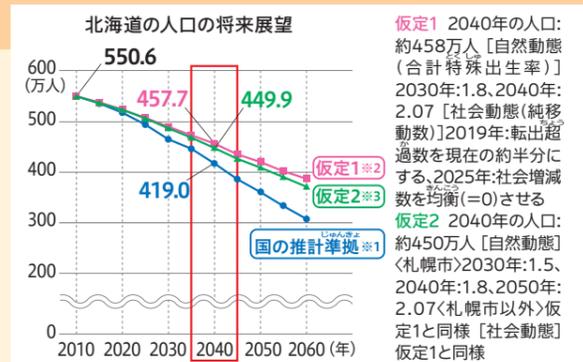
こうした影響をできるだけ小さくする方法はないのでしょうか。

▶特集(表紙部分)に関するお問い合わせは、
道庁人口減少問題対策局 ☎(011)204-5131
ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/jinkou/index.htm>

2040年、北海道の人口は？

北海道の将来人口は、今後何も対策を講じなければ、2040年に約419万人※1になると予測されています。

ただし、今後、札幌市をはじめ道内各地で、自然減と社会減の両面からの対策が効果的かつ一体的に行われ、その効果が表れた場合には、2040年時点で460～450万人※2～※3の人口が維持できる見通しです。



5つの戦略で取り組みを進めています。

道では、人口減少の危機突破に向けた取り組みを進めています。その方向性を示したのが、2015年10月に策定した「北海道創生総合戦略」です。

この戦略では、「幅広い世代が集い、つながり、心豊かに暮らせる包容力のある北海道」を目指す姿とし、次の5つの基本戦略に基づいて対策を進めていきます。

1. 子どもを産み育てたいという希望をかなえる
 2. 住み続けたいと思える生活環境を整える
 3. 食や観光をはじめとする力強い産業と雇用の場をつくる
 4. 北海道らしさを活かして人を呼び込み、呼び戻す
 5. 多様性を活かし、北海道らしい連携により地域を形づくる
- これらの中でも、「子どもを産み育てたいという希望をかなえる」「住み続けたいと思える生活環境を整える」ことは、道民の皆さんが今後も安心して北海道で暮らしていけるようにするために、なくてはならない考え方です。
中面では、こうした考え方に基づいて、誰もが安心できる暮らしをつかっていくための取り組みを紹介します。

特集クイズ
2014年の
北海道の出生率※は？

- ① 1.27人
- ② 1.42人
- ③ 1.86人

※合計特殊出生率。一人の女性が一生に生む子どもの平均数。
答えは中面下に▶

【特集】未来につなごう!安心の暮らし

「住み続けたい」という願いを、地域全体で支えるために。

安心できる暮らしは、明日への活力につながります。誰もがいきいきと暮らせる社会を目指して、道内各地で進められている取り組みをご紹介します。



結婚や子育てを応援

人々が地域に定着するためには、誰もが結婚や出産、子育ての希望をかなえやすい環境を築いていくことが重要です。

道では、結婚を望む人や応援したい人を対象にさまざまな相談支援を行おうと、2015年9月に結婚サポートセンター「北海道コンカツ情報コンシェル」を札幌に開設し、専門の相談員が窓口や電話、メールなどで対応しています。

今年度は、婚活*初心者向け講座を道内7カ所、出張相談を道内5カ所で行うほか、結婚を希望する人や結婚適齢期の子を持つ親向けセミナー「正しい婚活のはじめ方」などを札幌で開催します。また、婚活イベントや恋愛パワースポット情報などを盛り込んだメールマガジンも配信中です。詳細はホームページをご覧ください。*結婚するための活動



▶北海道コンカツ情報コンシェル 札幌市中央区南2東3 側ノヴェロ1階
☎(011)252-1122(相談窓口・電話受付:火~土曜 13~19時 ※祝日、12/28月~1/4月を除く)
http://www.hokkaido-kic.com

視野を広げることが、幸せな出会いへの近道です。



北海道コンカツ情報コンシェル 相談員 黒澤 真由美さん

「北海道コンカツ情報コンシェル」は開設3カ月程度ですが、来所や電話のご相談が予想以上に増えています。結婚を望む方や応援したい方であればどなたでも利用できるため、ご相談者の割合は「男性・女性・親御さん」がほぼ同じ程度です。「婚活ってどんなこと?」「自分の子どもが心配」など内容はさまざまですが、一番大切なのは、ご本人の意思で婚活を進めること。道内では自治体や企業が主催する婚活イベントがたくさんあるので、視野を広げるつもりで何度か参加してみると、結婚に対するイメージがより具体的になることでしょう。

婚活は、自分を知り、魅力を磨ききつかけ。結婚を望む方が幸せな人生を開けるよう、より良い後押しができればと思います。

共働き子育て家庭の強い味方

共働きをする子育て家庭の増加に伴い、放課後児童クラブへのニーズが年々高まっています。

道内約950カ所にある放課後児童クラブは、放課後や週末などに地域の子どもたちが安心して過ごせる場所。学童保育や学童クラブとも呼ばれています。

保護者が仕事などで家庭にいない場合に、小学生の遊びや生活の場として、学校の空き教室や児童館などに設けられています。

道では、こうした放課後児童クラブで子どもたちの指導にあたる放課後児童支援員の資質の向上を目指し、今年度は道内6カ所で開催事業を進めています。

▶道庁子ども子育て支援課 ☎(011)204-5236

保護者の心に寄り添い、子どもの成長を見守りたい。



学童保育所コロポックル 主事 桑原 桂子さん

創立35周年の「コロポックル」は、名寄市で最初にできた民間の学童保育所です。学校帰りに「たのい」と言ってここに来る子どもたちは、障がいのある子もいない子も一緒に同じ時間を過ごす地域の仲間。遊びの中でルールや折り合いを学ぶことは、他者への理解を深めるきっかけになります。時代とともに移り変わる地域と家庭、子どもたちの姿を指導員として見守ってきましたが、いまの子どもたちは日常がとてもしんどく、なかなか自分を開放できる場がありません。だからこそ、学校と家庭の間にあるコロポックルが、明日へのエネルギーを蓄える場であればと願っています。保護者の心に寄り添い、先生や親とは違う立場で子どもの成長を見守るプロでありたいと思います。

お知らせ

北海道

お問い合わせは
▶マークの窓口、またはホームページへ。

除雪による事故の防止

冬を安全に過ごしましょう

毎年、屋根の雪下ろしや落雪による事故が発生しています。次のことを心がけましょう。

- 屋根の雪下ろしをするとき
- 1人ではなく、複数で行う
- 滑りにくい靴、命綱を着用
- はしごを固定し、昇り降り时要注意
- 通行人や子ども、周囲に注意



- 除雪機を使用するとき
- 雪が詰まったらエンジン停止
- 機械に巻き込まれにくい防寒着で行う
- その他
- 除雪をするときは体調に注意
- 屋根の下では、つらら・落雪に注意
- 暴風雪、大雪警報などの気象情報に注意

▶道庁危機対策課 ☎(011)204-5008

マイナンバーの利用開始

いよいよマイナンバーの利用が始まります

2016年1月から、社会保障・税・災害対策の行政手続で、マイナンバーの利用が始まります。

本人確認書類として1枚で手続きができる「個人番号カード」の申請者への交付も始まります。

●お問い合わせ

マイナンバー総合フリーダイヤル
0120-95-0178(無料)
平日 9時30分~22時
土・日曜、祝日 9時30分~17時30分
[12/29(火)~1/3(日)を除く]

*IP電話等でつながらない場合はマイナンバー制度に関すること
050-3816-9405
通知カード、個人番号カードに関すること
050-3818-1250

▶道庁情報政策課 ☎(011)204-5980

年末年始を安全運転で

飲酒運転は絶対にやめましょう

年末年始は、帰省や旅行で車を利用することや、お酒を飲むことが多くなりますが、飲酒運転は重大な犯罪です。絶対にやめましょう。

また、冬道では突然の雪で視界が悪化したり、路面凍結でスリップするなど事故発生のおそれがあります。

車間距離を十分にとり、安全な速度で運転するよう心がけましょう。



▶道庁道民生活課 ☎(011)204-5219

マザーズ・キャリアカフェ

子育てをしながら働きたい女性を応援

女性専門カウンセラーへの相談や、求人・育児情報提供、適職判断、セミナーなど、仕事を見つけるためのサービスを1カ所です。子ども連れでの相談(要予約)も可能です。

道では、危険ドラッグ撲滅のため「北海道危険薬物の使用等の規制等に関する条例」を制定し、2015年9月1日に施行しました。危険ドラッグ販売などの情報を入手したら、お近くの保健所、または道庁医務業務課にお知らせください。

▶道庁医務業務課 ☎(011)204-5265



- 場所:札幌市中央区北4西5 三井生命札幌共同ビル7階(ジョブカフェ北海道内)
- 利用時間:月~土曜 10~16時 [日曜・祝日、12/29(火)~1/3(日)は休み]

*函館・旭川・北見・帯広・釧路のジョブカフェ地方拠点でも対応します。
▶道庁雇用労政課 ☎(011)204-5099

北海道ふるさと移住定住推進センター開設

移住・定住のワンストップ窓口です

北海道への移住などを考えている方に、道内の市町村情報をはじめ、「しごと」「住まい」「暮らし」などに関する情報を提供し、ご相談にお応えします。ぜひご利用ください。

- 場所:道庁4階(地域政策課内)
- 開設日時:月~金曜 8時45分~17時30分 [土・日曜、祝日、12/29(火)~1/3(日)は休み]

☎sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp
▶道庁地域政策課 ☎(011)204-5089

危険ドラッグ撲滅

作らない・売らない・使わない

危険ドラッグによる救急搬送や交通事故の被害が全国的に多発し、社会問題となっています。

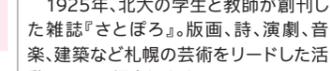
道では、危険ドラッグ撲滅のため「北海道危険薬物の使用等の規制等に関する条例」を制定し、2015年9月1日に施行しました。危険ドラッグ販売などの情報を入手したら、お近くの保健所、または道庁医務業務課にお知らせください。

▶道庁医務業務課 ☎(011)204-5265

創刊90年『さとぼろ』とその時代 詩・版画・都市のモダンズム

道立近代美術館で開催

1925年、北大の学生と教師が創刊した雑誌『さとぼろ』。版画、詩、演劇、音楽、建築など札幌の芸術をリードした活動について紹介します。



『さとぼろ』創刊号(右)・5号(1925年/道立近代美術館蔵)

◎期 間/3月21日(月・祝)まで
◎休館日/月曜(1/11、3/21を除く)、12/29(火)~1/3(日)、1/12(火)
◎時 間/9時30分~17時(入場は16時30分まで)
◎観覧料/一般510円、高校・大学生250円 ※中学生以下無料

(同時開催の近美コレクション「アートのことば」・「冬季名品選」もご覧いただけます。)
▶道立近代美術館 ☎(011)644-6882

地域トピックス

オホーツク総合振興局

「オホーツク・コンフェクション・プロジェクト」実施中。

プロジェクト名のコンフェクションとは「お菓子」の意味で、管内のお菓子屋さん、地元産の小麦・材料を使った商品を開発し、その商品を通じて観光客などに地域の魅力をPRするプロジェクトです。

この取り組みにより37事業者のお菓子が誕生し、2015年10月にはお披露目会を開催しました。今後、ポスターやお菓子屋さんマップ、店頭販売広告などで情報発信を続け、オホーツクブランドを推進していきます。

▶農務課 ☎(0152)41-0780

後志総合振興局 「しりべし絶景マップフォトコンテスト」作品募集中。

総合振興局では、フォトコンテスト作品を2月29日(月)まで募集中。羊蹄山や積丹半島、日本海沿岸の自然や、小樽市の歴史的な街並みなど、後志地域の魅力が伝わる風景写真が対象です。携帯電話やスマートフォンで撮影した写真でも応募できます。

応募いただいた作品は後志管内の景観マップや観光パンフレットに活用する予定です。応募方法など詳しくはフェイスブックやホームページなどをご覧ください。

しりべし絶景マップ 検索

▶地域政策課 ☎(0136)23-1341

根室振興局 ねむろバードランドフェスティバル2016

日本有数の野鳥観察地として注目される根室市で、希少な鳥類の保護や、バードウォッチャーの交流を目的としたイベントが開催されます。

開催は1月29日(金)~31日(日)で、主な内容は、おまかせガイドツアー、野鳥保護に関する講演会、野鳥関連グッズの販売、観光相談コーナーなど盛りだくさんです。

会場、申込方法などはフェイスブックをご覧ください。

ねむろバードランド フェイスブック 検索
▶根室市観光協会 ☎(0153)24-3104

暮らしの安心を高めよう

看護職員の再就業を応援

高齢化が進む中、医療分野の担い手である看護職員の需要は高まるばかりです。

新たな担い手の養成とともに、看護師等の免許を持っていても看護職として勤務していない人たちの再就業支援が必要です。

そこで、国の制度として2015年10月から始まったのが「看護師等の届け出制度」。看護職員が病院などを離職したときに、住所・氏名などを都道府県のナースセンターに届け出ることにより、本人の希望に沿った求人情報やさまざまな再就業支援を受けられるしくみです。

窓口となる北海道ナースセンターは、札幌のほか、函館・旭川・帯広・釧路・北見の5カ所に支所があります。

▶北海道ナースセンター(北海道看護協会内) ☎(011)863-6794
http://www.hokkaido-nurse.com/

ナースの活躍の場を広げる身近な応援者でありたい。

北海道ナースセンターは、1993年から看護職員への無料職業紹介や再就業支援などに取り組んでいます。さらに今回の届け出制度を機に、離職中の多くの看護職員とつながりが生まれ、再就業に向けた総合的な支援が始まっています。

看護職員の9割以上は女性。出産や育児などで離職しても志を持ち続け、復職を望む人は非常に多いのです。

一時でもブランクがあると、「知識や技術が不安」「現場で通用するだろうか」と思いがちですが、届け出によってつながっていれば、再就業に向けた体験研修なども無料で受けられます。ナースセンターは、働き続けたいと願う看護職員の味方として、惜しみなく応援できる存在でありたいと思います。

北海道ナースセンター 就業支援講習会

北海道ナースセンター 就業支援講習会

北海道ナースセンター 就業支援講習会

道議会レポート

定例会の概要などをお伝えします。

平成27年第3回定例会 (9/8~10/2)

第3回定例会の代表質問(5人)では知事の政治姿勢や道政全般について、一般質問(22人)では道政上の重要な諸課題について活発な議論が交わされました。これらの議論の経過を踏まえ、人口減少問題への対応、ASEAN経済交流支援拠点への取り組み、災害時における道民の安全確保、JR北海道及び国に対し安全運行体制の構築などを求めることについて意見が付けられた上で、知事から提出のあった補正予算案等24件が原案可決、報告案件1件が承認議決、人事案件4件が同意議決されました。

また、議員及び委員会から提出された意見案4件が可決されました。

▶平成27年度一般会計補正予算(第2号)
●総額61億9100万円
●歳出の主なもの

- 道外のプロフェッショナル人材の活用による道内中小企業等の経営革新を図るための経費
- 農地の集積・集約化を図るための農業構造改革支援基金関連経費
- 中小企業者の受注機会や事業量の確保等を図るための経費

▶可決された意見案
● 子ども医療費助成の制度化を求める意見

● 「患者申出療養」の適切な運用を求める意見

● 私学助成制度に係る財源措置の充実

～ホームページをご覧ください～
道議会ホームページでは、議員一覧、議会の日程、議会中継、本会議の審議概要、傍聴・見学や請願・陳情提出のご案内など、さまざまな情報をご覧いただけます。 [北海道議会] 検索

～議会中継のお知らせ～
平成27年第3回定例会から、本会議や予算・決算特別委員会のライブと録画の中継がスマートフォンでも視聴できるようになりました。

～定例会のお知らせ～
平成28年第1回定例会は、2月下旬に開会の予定です。日程などの最新情報は、ホームページや北海道議会ツイッターなどでご確認ください。

▶議事事務局政策調査課 ☎(011)204-5691

馬の厩舎から出た麦わらを堆肥に、マッシュルームを生産。

麦わらで工夫! とかちマッシュ 帯広市

帯広ばんえい競馬の厩舎の敷きわらは、日本で一般的な稲わらではなく、麦わらを使っています。鎌田きのこ(株)は、その麦わらなどを発酵させた堆肥で、農薬などを使用せず「とかちマッシュ」を栽培しています。



「とかちマッシュ」はブラウンとホワイトの2種

マッシュルームの栽培発祥の地・フランスで生育に最適といわれる原料は麦わら。全国一の小麦産地ならではの栽培法です。

「北海道でも質の高いものが手に入る」とシェフたちの口コミで広まり、今では道内のデパートやスーパーにも出回るようになりました。

麦わらは稲わらよりも繊維が強く、ばんえい競馬で活躍する体格がよい馬のふんは繊維も粗いため、マッシュルームに適した堆肥となり、通常より大きな球形に育ちます。ブラウンは原種に近い濃厚なうま味と香り、ホワイトは上品な甘みがあり生でも食べられ、「シイタケ嫌いの子どもも、これなら食べる」と好評です。

洋風料理だけでなく、おみそ汁に入れるとだしもよく出るので、このおいしさをもっと知ってほしいですね。

▶お問い合わせ 鎌田商事(株)北海道支店 ☎(0155)38-5002

アイデアも道産!

北海道ひとくふう

馬編

北海道を元気にする、地域の皆さんの「ひと工夫」を紹介します。



北海道静内農業高等学校では、馬産地である地域性を生かし、全国で唯一、サラブレッドの生産を授業カリキュラムに取り入れています。授業では、馬の種類や性質、餌の管理などをはじめ、種付け、出産の立ち会い、調教など、3年間を通して体験・学習します。



活躍できる馬に育てようと真剣な生徒たち

中央競馬で3勝をあげた馬「ユメロマン」を育てたほか、2015年夏の競りでは、地元生産者の馬でも選ばれるのが難しいJRA(日本中央競馬会)に生徒たちが育てた「夏羽月」が見事落札されました。

神経質でストレスを抱えやすいサラブレッドは、プロでも飼育するのは大変。育てる上で最も大切なのは、馬の気持ちを受け取ること。特に馬術部の生徒は、早朝から夜まで、夏休みも返上して馬の世話をしています。落札が決まったときの生徒の誇らしい表情は、涙ぐましいほど感動的です。現在、人と馬の信頼関係を深め、最終的には道具を使わず、馬と行動を合わせる調教(ナチュラルホースマンシップ)を取り入れ、地域の専門家と連携した授業に力を入れています。

▶お問い合わせ 北海道静内農業高等学校 ☎(0146)46-2101

馬を育てることで、生徒も大きく成長します。



北海道静内農業高等学校 池田 幸治 実習担任教師

みんなで応援! 北海道新幹線 2016年3月26日(土) 開業

「北海道新幹線開業PR動画」公開中!ぜひご覧ください。

映画監督やタレントとして人気の鈴井貴之さんが、特任筆掌として出演する開業PR動画が、北海道新幹線開業NAVIで公開中です。イメージソングは、GLAYによる「Supernova Express2016」。



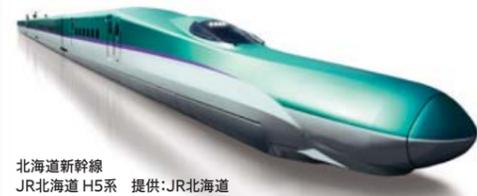
開業PR動画



イメージソングを担当したGLAYの皆さん

ぜひ皆さん、チェックしてみてください。

動画はこちらで [北海道新幹線開業NAVI](#) 検索



北海道新幹線 JR北海道 H5系 提供:JR北海道

開業まであと3カ月!

※2016年3月26日より起算

でスノー!

北海道新幹線開業 PRキャラクター どこでもユキちゃん

▶道庁新幹線推進室 ☎(011)204-5333

北の美味しいプレゼント!

(株)もりもと・ホクレンが共同開発した『北海道産小麦「きたほなみ」と「春よ恋」のクッキー』(9個入×2箱)をプレゼント!



抽選で50名様

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

次のアンケートに答えて道産品を当てよう!

1月号の中で興味を持ったのは、どの記事ですか。

- ①特集(未来につなごう!安心の暮らし) ②お知らせ北海道
- ③地域トピックス ④ひと・人・くふう ⑤北海道新幹線

●応募方法:アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募期限 2016年1月29日(金)必着

応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

●応募先 ハガキ 〒060-8588(住所不要)

携帯サイト

北海道広報広聴課「北の美味しいプレゼント!」係

パソコン 広報紙「ほっかいどう」 検索



●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。

※11月号のプレゼントには、5,107件の応募をいただきました。ありがとうございます。

北海道の人口	総人口	男	女
平成27年9月末	5,406,862人	2,555,213人	2,851,649人
前年同月比	31,126減	15,602減	15,524減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

次号のお知らせ

3月号は2016年2月24日(水)から配布予定です。



この広報紙は環境に優しい植物性インキと古紙配合率70%再生紙を使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

広告

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。